

第23回酪農諮問委員会 実施概要

1. 開催日時 2022年4月26日(火) 14:00～17:00
2. 会場 雪印メグミルク(株)本社会議室
3. 出席者
諮問委員 高取 剛(元標茶町農業協同組合 代表理事組合長)
相馬 義樹(元全国酪農青年女性会議 監事)
伊藤 強(元東北生乳販売農業協同組合連合会 代表理事専務)
鈴木 宣弘(東京大学大学院農学生命科学研究科 教授)
矢坂 雅充(公益財団法人日本農業研究所 研究員)
清水池義治(北海道大学大学院農学研究院基盤研究部門 准教授)
当 社 佐藤雅俊社長、西馬場茂副社長、本井秀樹副社長、西尾啓治相談役、
小坂橋正人常務、戸邊誠司常務、事務局(酪農総合研究所)
4. 開催内容

今年度の諮問テーマは【国際酪農における日本酪農の在り方】とし、今回は「持続可能な酪農産業について」ご意見を伺いました。

新型コロナの国内初感染から2年が経過しましたが、次々と変異株が出現し、今なおその感染状況は高止まりの状態が続いています。世界的には、コロナ禍によるコンテナ輸送の混乱に加え、ロシアのウクライナ侵攻、原油価格・穀物相場等の急騰や円安によって、国民の生活にも大きな影響を及ぼしています。

酪農乳業においては、生乳需給は大きな波に晒され、乳製品在庫の積み増しが史上最高の水準に達するなど危機的な状況となっています。また、飼料原料等を海外に依存している酪農経営にとっては、深刻なダメージを受ける状況となっており、ここ数年来業界一丸となって酪農生産基盤の回復に取り組み、やっとその成果が見えてきた矢先にこのような状況となったことは、極めて憂慮すべき事態であると言えます。

これらの情勢を踏まえて、ご意見とご助言を頂きました。

以 上



酪農諮問委員会の様子